

教職論

科目ナンバー 4H102
教職 教必 2単位

橋本 和顕

1. 授業の概要(ねらい)

教職への関心を高めて知識理解を深めるとともに、資質・能力の向上に努めながら自己の適性について洞察し、教職に対する態度形成を図り、自分は教職課程の履修を続けるべきか、どうかを的確に判断できる力をつけることを目指している。

そのため、学校教育と教職の意義、教員の役割、職務内容、研修等、教職について歴史、理念、制度、実態など多角的・多面的に探究していく。また、学習活動を通して客観的に自分を見つめて自己分析、自己理解を進め、教職への適性を把握し、これからの課題の明確化を図る。

2. 授業の到達目標

(1) 教職について関心をもち、教職の意義、教員の役割、職務内容、研修等、基礎的・基本的な事項について、積極的に調べ、考え、表現することができる。

(2) 自己の資質向上に努めるとともに、能力・適性について考察を深め、教職への理解、目的意識、学習意欲の有無を自らに問い、教職課程履修の継続を責任をもって判断することができる。

(3) 教職志望の目的や理由、目標達成を目指す教職課程修得への決意や学習計画について、筋道を立てて分かりやすい文章で説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業の到達目標の達成度を課題レポート及び試験等によって評価する。

課題レポートの作成・提出は、本科目の必要条件となっており、提出のない場合は単位修得はできない。

4. 教科書・参考文献

教科書

共通のテキストは、『教職論』佐藤春夫著を使用する。

5. 準備学習の内容

教職課程を履修する学生には、先ずこの科目を学び、単位を修得することが必要条件である。毎回の授業内容を確実に理解し、自己の進路の選択に生かしていかななくてはならない。

授業内容にかかわる課題に取り組むこと、また、教職への適性を探り、自分の教職課程の履修の是非を見定めること。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション―授業の目標、内容、進め方、教材・資料、成績評価
・教職の意義 教職とは、
- 【第2回】 先生・教師・教員―様々な教職像
・教職の魅力、教師の生きがい
- 【第3回】 教職への進路(1)―大学における教員養成
・教職への期待 教員の資格と教員養成
・求められる資質・能力と履修科目
- 【第4回】 学校と教職の歴史
・学校教育と教職の歴史
- 【第5回】 学校教育と教員の役割 学校教育の目的 教員の役割と仕事
- 【第6回】 教職の特性と教職観 職業としての教職の特異性 教職専門性の追求
- 【第7回】 教員の職務 教員の日常―仕事と生活 教員の生涯―ライフサイクルと生きがい
- 【第8回】 教員の教育活動(1) 教育課程と学習指導・生徒指導
- 【第9回】 教員の教育活動(2)―授業者として
・学習と教授―幼児児童生徒の学習・教員の指導
- 【第10回】 教員の教育活動(3)―学級担任として 学級担任と学級経営―学習集団づくり
- 【第11回】 学校組織と教員の種類―学校の一員として 学校運営と校務分掌組織
- 【第12回】 教員の身分と服務 教員の任免、服務規律 分限と懲戒
- 【第13回】 教員の資質向上と研修
・研修の意義と教員研修制度 教員のライフステージに応じた研修
- 【第14回】 教職への進路(2)―教員資格の獲得
・教員の資格―教員免許制度 教員として必要な資質能力の獲得と教職課程の修得
- 【第15回】 教職への進路(3)―教員採用に向けて
・いま、求められる教員 教員の選考、採用試験の概要と準備
・自己の適性の吟味と進路相談